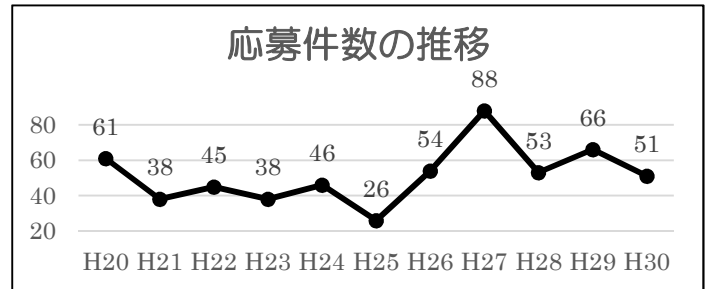


長野市景観顕彰制度（景観賞）について

1 長野市景観賞の現状

(1) 景観賞の応募件数の推移

- ・ 応募件数は、**過去 11 年間で年平均 51 件**の応募がある。
- ・ ただし、実際には**関係者の協力**により、件数が確保されている状況。**一般市民からの応募件数は年々減少傾向**である。
- ・ 公共施設は、例年数件の応募があるが、建築に携わった事業者関係者と思われる方か、学生からの応募が大多数である。

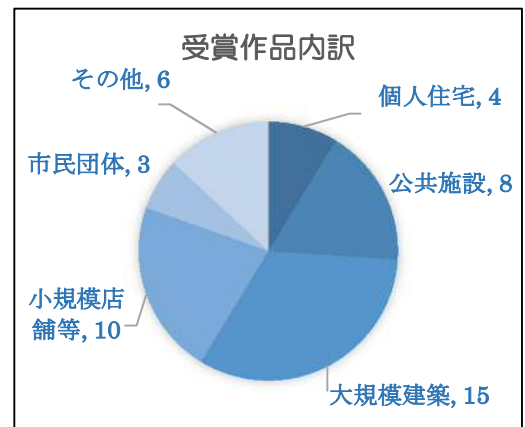


(2) 近年における応募作品の傾向

- ・ **個人住宅**の応募は、**例年3～5件程度**ある。
- ・ **公共施設**（建築物・公園等）の応募は、**例年 10 件前後**ある。
- ・ H20～30 年度の間、**市民団体の応募は計 12 団体**あった。
- ・ **古民家等のリノベーション物件**の応募が**例年2～4件程度**ある。
- ・ **大型建築物**の応募は、**減少傾向**にある。

(3) H20 年度以降の受賞作品（全 46 作品）の傾向

- ・ **個人住宅**の受賞は**4 作品**
【焼き杉ハウス、八田邸、宮沢家長屋門、久保田良一郎】
- ・ **公共施設**の受賞は**8 作品**（長野駅前広場含まず）
- ・ 比較的大規模な建築物の受賞は **15 作品**
【表参道式番館、長野日本大学、長野信用組合（3 作品）、電算、八十二銀行（2 作品）、長野信用金庫、新光電気工業、北野美術館、長野駅、長野県医師会、日本無線、ミヤマ】
- ・ **小規模店舗等**の受賞は 10 作品
【竹風堂大前店、尾澤酒造場、いろは堂、すき亭本館と洗心亭、御菓子処花岡、鳥蔵別邸東屋、三原屋、Café du Cache ぶなの木、OERC green lab、スタイリッシュな花屋】
- ・ **市民団体**の受賞は**3 団体**
- ・ その他は、診療所（2 作品）・保育園（2 作品）と、庭・灯籠



2 長野市景観賞の課題

- (1) 応募しやすい目新しい建築物が減少傾向なこともあり、市民からの**応募件数の減少傾向**。
- (2) 例年、**個人住宅**は一定の応募があるが受賞が少なく、H24 年度以降**受賞がない**。
- (3) 中小施設や個人住宅の**関係者**（施主・設計・施工者）からの**応募が少ない**。
- (4) 表彰作品集には施主等のコメントを基にした紹介文は掲載されているが、**受賞理由が不明瞭**。

第32回（平成31年度）景観賞 見直し（案）

1 募集方法の見直し

従 来	見直し案
リーフレット配布 （支所・公民館・関係団体・教育機関 等） 広報ながの・建築士会会報 掲載 ホームページ・TOiGO ビジョン・twitter 掲載 FM ぜんこうじ・有線・NHK お知らせ放送 景観賞・ながの百景パネル展の実施	リーフレット配布 （支所・公民館・関係団体・教育機関 等） 広報ながの・建築士会会報 掲載 ホームページ・TOiGO ビジョン・twitter 掲載 FM ぜんこうじ・有線・NHK お知らせ放送 景観賞・ながの百景パネル展の実施 （新）市公式 instagram 掲載 （新）関係団体所属事業者へのリーフレット直送 （新）ポスターを作成、各公民館・関係団体等への掲示 （新）応募方法に電子申請システムを追加

- リーフレットを配布している関係団体は、建築士会・建築士事務所協会・建設業協会・広告塗装事業協同組合など。
- リーフレットには、他薦（＝推薦）ができること、看板（＝屋外広告物）も募集対象出ることを分かりやすく記載する。
- 応募方法を増やすことで、応募のしやすい環境を整える。
- 景観賞受賞による施主・設計者・施工者のメリットをPRできるように検討する。

2 選考過程の非公開化

従 来	見直し案
一次選考・最終選考ともに公開 （一般市民・マスメディア等問わず公開）	一次選考・最終選考ともに非公開 （一般市民・マスメディア等問わず 非公開 ）

- 原則公開であることから応募作品関係者も傍聴できるため、率直な意見交換・選考が阻害される恐れがある。
- 選考過程で、施主などの個人情報について触れる可能性がある。

3 その他

従 来	見直し案
表彰作品集の紹介文は、施主等のコメントを基に作成	審議委員会として、何故、該当作品を選考したのかを表彰作品集に掲載

- 最終選考において、選考された理由をまとめていただく。
- 表彰作品集に、単に外観の説明ではなく、どういった要素が評価されて受賞したのかを掲載することで、次回以降、応募者がどのような作品が景観的に望ましいのか判断する材料になる。